

相談支援センター 事業報告

平成 29 年度事業計画に基づき、以下の事業を実施しました。

	事業名	実施主体	職員体制
生活に関わる事業	相談支援事業（委託、一般、特定）	埼玉北圏域 4 市 2 町	1 名（専任）4 名（兼務）
	障害児等療育支援事業	埼玉県	2 名（兼務）
	巡回支援専門員整備事業	久喜市・幸手市	2 名（兼務）
	地域生活定着促進事業	埼玉県	2 名（兼務）
	彩の国あんしんセーフティネット事業	埼玉県社協	2 名（兼務）
就労に関わる事業	久喜市障害者就労支援事業	久喜市、白岡市、宮代町	3 名（兼務）
	障害者就業・生活支援センター事業	国（就業）	5 名（専任）
埼玉県（生活）		2 名（兼務）	

<相談支援実績>

	生活支援	就労支援	定着支援	総数
登録者数（人）	638	852	—	1,490
相談支援件数（件）	2,610	7,763	392	10,765
職員一人あたりの年間相談支援数（件）※職員数 12 名			897	

<サービス等利用計画・モニタリング作成数>

（件）

サービス等利用計画	成人	142	児童	75
モニタリング	66			

1 事業報告

（1）生活全般に関わる相談支援

ア 相談支援事業（委託、一般、特定）

(ア) 幸手保健所管内の埼玉北圏域 4 市 2 町（久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町）の委託を受けて相談支援事業を行いました。

(イ) 相談の傾向として、地域で単身生活をする方の引っ越し・生活技術に関する内容や、家庭内における母への依存・暴力等に関する内容が特に増加しています。

(ウ) 課題としては、地域内で障害のある人を重層的に支えるシステムが十分に整っていないことや、緊急時に利用できる短期入所・グループホームの不足等が見られました。

<支援種別>

（件）

訪問	外来	同行	個別会議	関係者会議
779	508	395	46	58

<相談内容>（重複あり）

（件）

福祉サービス	健康・医療	不安解消	家族関係	生活技術	余暇	権利擁護
1,374	610	708	672	1,822	263	49

イ 障害児等療育支援事業（埼玉県）・巡回支援専門員整備事業（久喜市・幸手市）

(ア) 保育園、幼稚園、小・中学校を巡回し、保育士・教員に対して、発達に遅れのある児童への指導方法や環境調整について助言を行いました。

(イ) 発達障害に対する認識の広まりから、保育園・幼稚園・小中学校の普通級とも保育士・教員からの在籍児童に関する相談が増加しています。また、両親が子供の発達に不安を感じて知能検査の依頼に至ることも多く見られています。

<支援種別> (件)

訪問療育	外来療育	施設への指導
1,626	210	102

ウ 地域生活定着促進事業「高齢・障害者などの累犯受刑者等の自立支援」

(ア) 矯正施設（刑務所又は少年院等）の出所予定者で、福祉的支援が必要な高齢や障害の方々の支援を行いました。

(イ) 平成 29 年度は 4 名の出所に向けた調整支援、出所後の刑余者 25 名のフォローアップ支援を行いました。

(ウ) 出所後、福祉的支援を受けて地域生活をしていて再犯をして再び刑務所に収監されたケースがありました。そのような再犯をしてしまうケースを今後どう支援をしていくか、課題となってきています。

<支援種別> (件)

電話調整	訪問	同行	個別会議	関係者会議	出所・出院
218	80	46	25	23	4

(2) 就労に関わる相談支援

ア 市町村障害者就労支援事業（久喜市・白岡市・宮代町）

イ 障害者就業・生活支援センター事業

(ア) 主に利根保健福祉圏域（7 市 2 町）に住んでいる障害のある方の就労相談及び就労支援を行いました。

(イ) 登録者及び就職者とも全体的に増加していますが、中でも精神障害・発達障害の方の数が増加傾向にあります。

(ウ) 平成 29 年度就職者の中で、1 年間離職せずに就労が続いている利用者は 91%となっています（平成 27 年度就職者定着率 84%）。職場定着率が改善した要因として、就労移行支援事業所等を利用して就労準備性が高められたことや、就労アセスメント・職場実習等を通して本人の適性を見極め、職場や仕事のマッチングがうまく図れたことが挙げられます。

<支援種別> (件)

来所相談	電話相談	職場訪問	他機関訪問	新規就職者	実習者
1,003	3,766	2,042	952	33	38

<登録者内訳> (人)

	平成 29 年度	平成 28 年度
身体障害	71	69
知的障害	514	482
精神障害	267	237
合計	852	788

<新規就職者内訳> (人)

	平成 29 年度	平成 28 年度
身体障害	1	0
知的障害	16	15
精神障害	16	19
合計	33	34

(3) 地域との連携

- ア 月1回、圏域に住まう在宅の障害がある方の交流の場「みんなの会」をボランティアと共に運営しました。
- イ 緊急・困難なニーズに対しても対応できるよう、日頃から地域の各事業（コミュニティーソーシャルワーカー研修、埼玉北地域自立支援協議会、就業サポート研究会、久喜市精神保健福祉関係機関担当者連絡協議会等）に参加し、ネットワークを広げました。

(4) 人材の育成

- ア 多種多様な福祉ニーズに応えるために、各種研修に参加し、相談員の支援技術の向上に努めました。

<参加研修（一部）>

研修名	主催	日時	場所	参加者
基幹相談支援センター協議会 担当職員研修	埼玉県	5/16	さいたま商工会議所会館	渡邊、袴田 近藤
相談支援従事者初任者研修	埼玉県	6/5他	さいたま市民会館おおみや他	新井
共生社会を創る愛の基金 第6回シンポジウム	南高愛隣会	7/1	日本教育会館	渡邊、日下 上野
支援者のための成年後見 活用講座	埼玉県社会福祉士会	8/23	カルタスホール	渡邊
障害者ワークセミナー	埼玉県	9/13	浦和コミュニティセンター	福島・寒河江
基幹相談支援センター全国 研修	日本相談支援専門員 協会	9/24	オリンピック記念青少年総合 センター	袴田
発達障害就労支援セミナー	埼玉県障がい者就労支援 ネットワーク	10/14他	埼玉会館	上野
サービス管理責任者研修	埼玉県	11/15他	武蔵浦和コミュニティセン ター他	渡邊、袴田 小林
相談支援従事者現任者研修	埼玉県	1/15他	発達障害総合支援センター他	小林、日下
高次脳機能障害セミナー	埼玉県総合リハビリ テーションセンター	1/20	すこやかプラザ	小林、上野
災害派遣福祉チーム研修	埼玉県災害福祉支援 ネットワーク	1/24	発達障害総合支援センター	上野
発達障害児支援における 多職種連携研修会	埼玉県	1/28	発達障害総合支援センター	増田
医療的ケア児等コーディネ ーター養成研修	埼玉県	2/23他	さいたま市民会館うらわ他	渡邊
埼玉県虐待防止研修	埼玉県	2/28	浦和合同庁舎	袴田
全国依存症等関係者研修	久里浜医療センター	3/2	品川TKPカンファレンスセンター	渡邊
相談支援報酬改定学習会	埼玉北地域自立支援 協議会	3/28	蓮田市総合文化会館ハスト ピア	袴田、近藤